

# DENBA<sup>H</sup> LIFE

「いつもの日常を  
特別な日に。」

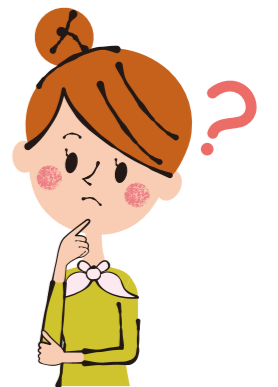


**DENBA<sup>H</sup> Healthは  
おかげさまで3万台突破!**

2020年  
4月現在

# 高電位治療器とDENBA<sup>H</sup> Health 何が違うの？

自然界に満ち、生命体にも備わる電気之力。  
人体にもっと効果的に電気を使えないか？  
これまでさまざまなテクノロジーが生み出されてきました。  
DENBA<sup>H</sup> Healthは、電気を使って健康をサポートすることから「高電位治療器」と似たものに思われがちですが、実はさまざまな違いがあるのです。



**DENBA<sup>H</sup>は、低電位で健康をサポート**

**その理由は 電気之力+「共振」が作用するから。**

電位治療の世界では、これまで電位(電圧、V)の高さ(強さ)に比例して効果があると考えられてきました。

一方、DENBA<sup>H</sup> Healthはスタンダードが1800V、ハイグレイドも2200~3400V。出力電流は約0.2mAとなっており、私たち人間が感じ取れる電流1mAのおよそ5分の1という超微弱電流です。

低電位でも優れた結果を生み出せる理由…それは、DENBA<sup>H</sup> Healthが電位之力に加えて、独自開発された周波数を出すことで、空間の水分子を共振させるから。

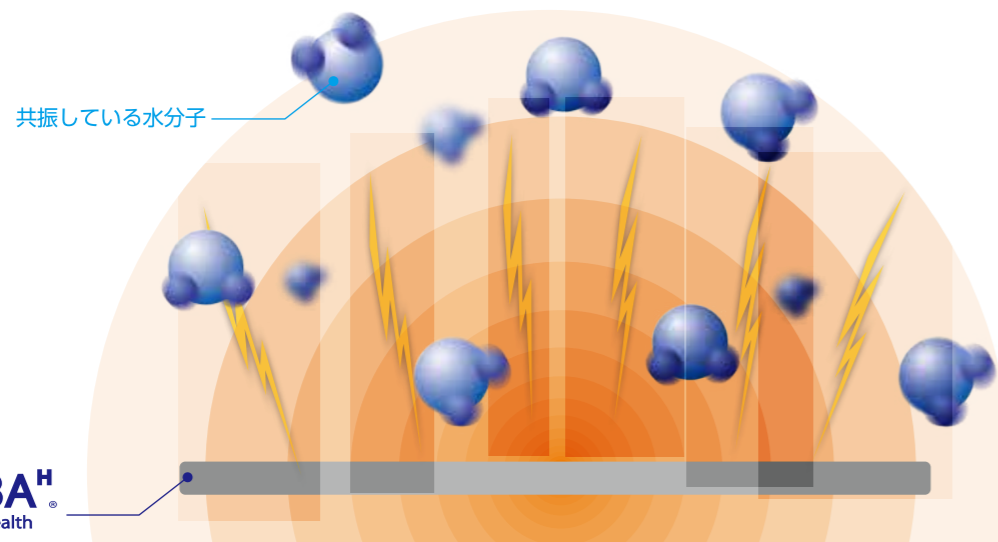
低電位でも、体の水分を分子レベルで共振させる、という、全く新しいメカニズムで人体の働きをサポートしている。

高電位治療器は電圧の強さで治療する



高電圧を発する電位治療器は、使用時間に制限が設けられている

## 独自の周波数で水分子を共振させる



ここが違う！

低電位でも健康をサポート！

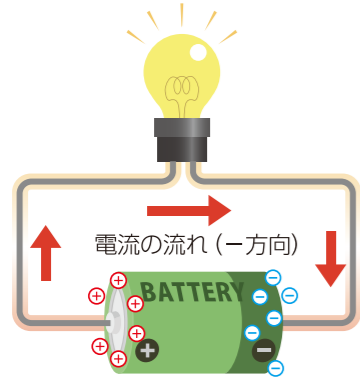
電場之力が空間に広がる！

健康に対する独自の着眼点



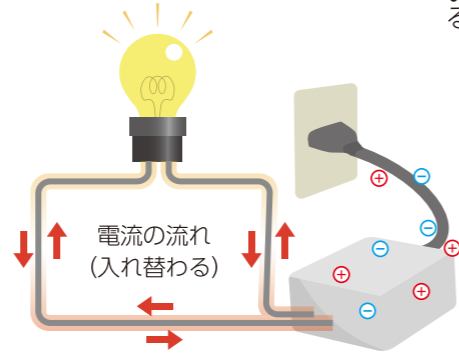
## 通常、電流は2極(+)と(-)間の導線上を流れる

### 乾電池(直流)



乾電池の内部で、化学反応を起こして電気が発生する。電子(-)は電流を通しやすい導線をつたって(+)極に流れていく。電流はその逆で、(+極から(-極)へ流れる。

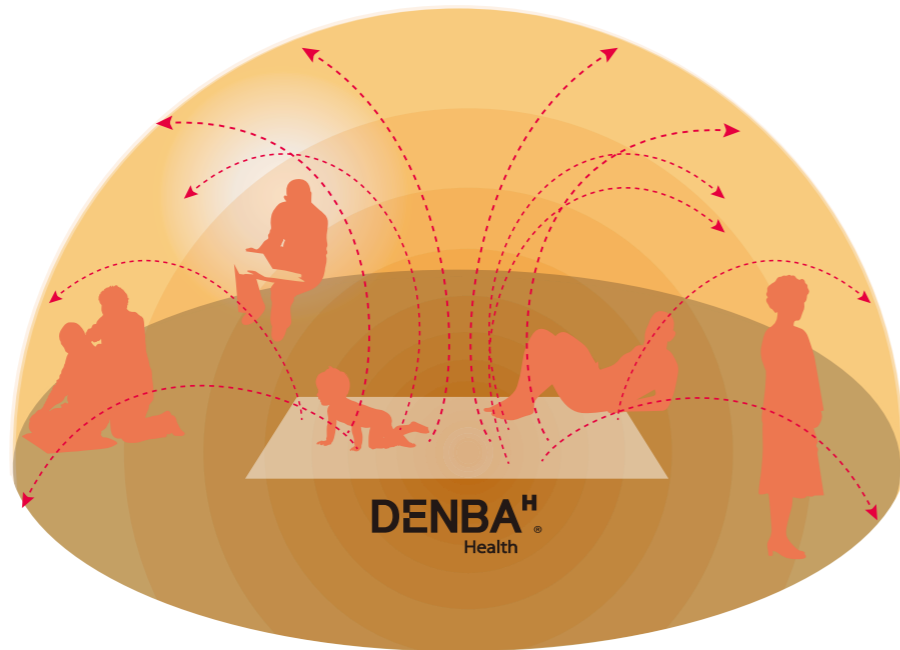
### 電化製品など(交流)



コンセントの電気は、交流電流である。(+)と(-)の極は、1秒間の間に50回あるいは60回入れ替わり、電流も行ったり来たりしながら流れている。

## DENBAのマットには1極しかない！

DENBA<sup>H</sup> Healthの、独自技術で作られた電位マットから放出された電気は、(+)と(-)を結び導線を伝わることなく、雷や下敷きの静電気のように空間中に放出され、マットを中心とした広範囲の空間に電場が形成されるしくみとなっている。



その理由は

**1極で電場を発する  
特許技術だから！**

DENBA<sup>H</sup> Healthの電場について詳しくご説明します。

通常、電流を意図的に起こすには、(+)プラスと(-)マイナス(それぞれの「極」を作って、その間を電子が移動できるようにする必要があります。そのため、高電位治療器は2つ以上の極をその機械の内部に設けてあり、その間を移動する電子の影響を体に受け、集中的に患部を治療する仕組みになっています。

ところが、DENBA<sup>H</sup> Healthは、**1極のみから、独自に開発された技術(特許取得)で電気を周囲の自然界の空間に向けて放出。その結果、マットを中心とした大きなドーム状の電場空間を作り出す技術なのです。**

## 自然界で起きる電子の移動



雷は広大な空間で大量の電子が移動する現象である。空気中の水蒸気が摩擦によって静電気を帯びると、雲の上は(+)に、下の方は(-)に帯電していく。さらに、地上面に(+)が集まってきて、雲の下部の(-)と引かれ合い雷が落ちる。

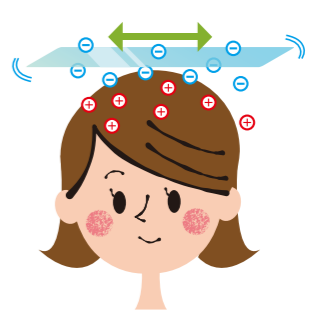
その後、下敷きを上に近づけると



(+)に帯電していた髪の毛は (-)に帯電した下敷きに吸い寄せられる

下敷き(塩化ビニル)は(-)に帯電しやすい、髪の毛は(+)に帯電しやすい性質をもっている。  
(+)と(-)は互いに引かれ合うため、髪の毛とその周辺がいわば電気の通り道となり、下敷きとくっつく現象が起きる。

下敷きを髪の毛に近づけると



下敷きは(-)に、髪の毛は(+)に帯電する

DENBA<sup>H</sup> エネルギーの力が空間に広がる

# DENBA<sup>H</sup>は、開発の着眼点の特徴

## その理由は 食品の鮮度保持からスタートしたから！

DENBA<sup>H</sup> Healthは、どうして他の高電位治療器と違う特徴があるのでしょうか。

それはこの機器が、医療用としてではなく、食品の鮮度保持のために開発されたDENBA<sup>+</sup>を応用したものだから。

開発者は言います。

「細胞が死に絶え、水分も減る一方の生鮮食品の鮮度を保持するのは非常に難しいことである。しかし私たちはさまざまな条件下で膨大な回数の実験を繰り返し、これらの食品の鮮度保持に成功した。一方で、生きている人間には、細胞が水分を保持するのみならず、自ら回復したり治療したりするメカニズムが元来備わっている。」



そのためより条件的に難しい食品で成功した内容が人々にもプラスに働くことは当初から想定できたことである」

独自の着想と研究により、現在DENBAの鮮度保持技術は37カ国で特許を取得(他随時出願中)し、世界の食品業界、流通業界、そして医療業界までもが注目しています。

### 切花の鮮度で比較するとその差は歴然！



左側はDENBA<sup>H</sup>空間、右側は通常の空間でその変化を追った。DENBA<sup>H</sup>空間にはDENBA<sup>H</sup> Healthを置き、さらに空間に効果が及んでいるのを見るために、花瓶と花はマットから浮かせた位置に設置した。

DENBA<sup>H</sup>空間の方は、花の鮮度はもちろんだが、花瓶の水が減っている(切花がきちんと水を吸っている)こと、さらに枝の1本から若芽が伸びてきていることにも注目したい。

**MOVIE**  
バラの花の鮮度保持動画が見られます。

### DENBA<sup>+</sup>による りんごの鮮度比較実験(4ヵ月)



りんごの比較は食品鮮度保持をするDENBA<sup>+</sup>での実験結果であり、DENBA<sup>H</sup> Healthによるものではありません。

### 東京大学とDENBA<sup>H</sup>社が共同研究を開始！

DENBA<sup>H</sup>技術が生体に与える効果を科学的に検証する

発売よりその独自性から「ブラックテクノロジー」とも称されてきたDENBAの電位空間。その空間が与える効果を科学的に検証する試みが、東京大学の大学院薬学系研究科薬品作用学教室とDENBA株式会社との共同で始まりました。



- 本研究の概要は次のようになっていきます。
- ① 研究題目 電場が生物に与える効果の検証。
  - ② 研究目的 電場が生物に及ぼす影響を明らかにする。
  - ③ 研究内容 電場下に細胞や個体を置き変化を観察する。

同教室はミッションとして「脳の発生機構と動作原理を通じて、i)健康と疾患 ii)成長と老化の仕組みとその意味を探索し、研究成果を幅広く社会還元します」と掲げています。

最先端の研究室が、DENBA<sup>H</sup>についてどのような結論を見出すのか、その結果に大いに期待が寄せられています。



DENBA社と東京大学の連名で出された共同研究開始の書面

# 🐥 体をじっくり温めていますか？

DENBAの前で…できているますか？

冷え取りで体の土台作り！

私たちが日々元気に活動できるのは、体内を血液がめぐり、36.5度の体温が維持されているから。しかし、今、体質や生活習慣の乱れ、外の環境などが原因で、体温の低い人が増えています。冷え取りの基本、温めと水分補給を習慣にしていきましょう。

✓ **温めるのには、お風呂が最適！**

お風呂に入ったその瞬間を温かくするだけではなく、血行のよい状態が上がってからも持続します。温度や時間などを整え、より効果を高めましょう！

✓ **お風呂の温度は**

**夏38度、冬40度**

熱いお湯を好む人もいますが、これでは反対に湯冷めによる冷えが心配。少しぬるいかな？と感じるお湯に時間をかけて浸かることで、体の温かさが持続します。

✓ **全身浴よりも半身浴を**

全身浴では水圧により心臓や血管への負担がかなりかかります。半身浴は温かい血液が全身にめぐることによって負担を軽減し、温めることができます。

寝る  
90分前  
の入浴が  
ベスト

入る前に  
浴室を温め  
ておく

✓ **シャワーだけは逆効果!?**

お風呂はシャワーだけ…という人がいます。それでは汚れは取れても冷えは取れません。シャワーは交感神経を刺激し、体を緊張状態にするからです。湯船に浸かって副交感神経に働きかけ、体をリラックス状態にしましょう。

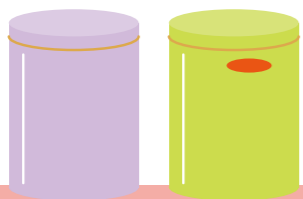
シャワー派の  
若者は  
増えてくる…

お風呂に関するアンケート調査では、「季節に関係なくいつも浴槽に浸かる」方は全体で4割程度、女性10代・20代では3割弱。そして、反対に「季節に関係なくいつもシャワーで済ませる」若年層の割合は増えており、3割強といえます。(マイボイスコム調べ)

入浴剤を  
使うと



さら湯は肌に必要な脂分をとってしまいます。保温効果、保湿効果の高い入浴剤を活用しましょう。



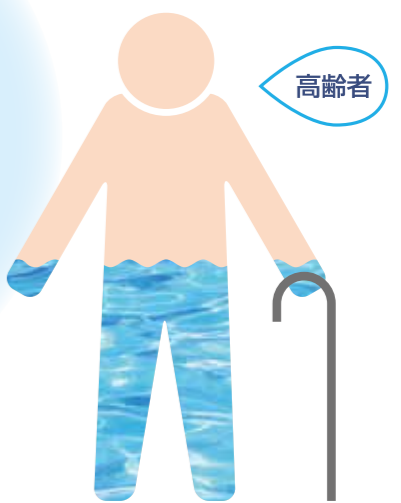
# 健康には水。

# そして水を保つ電気とは。

健康な状態の体は生体電流が滞ることなく流れていき、細胞同士の新陳代謝が活発に行われています。しかしこれがスムーズに流れなくなると体は不安定な状態になって十分なパワー(能力)を発揮できなくなったり……。これには体内の水が大きく関与していました。

## 体の水分、どこにあるの？

人間の体は、性別や年齢による差はありますが、約3分の2が水分と言われています。これはどこかにまとまって60%の水分が溜められているのではなく、60兆個の細胞のそれぞれが60%の水分を抱えていることを意味します。血液や、水分を多く含む臓器は比較的水分量が多く、同じ細胞でも、筋肉と脂肪だと筋肉の方が水分を溜める力が高いといわれています。



50~55%

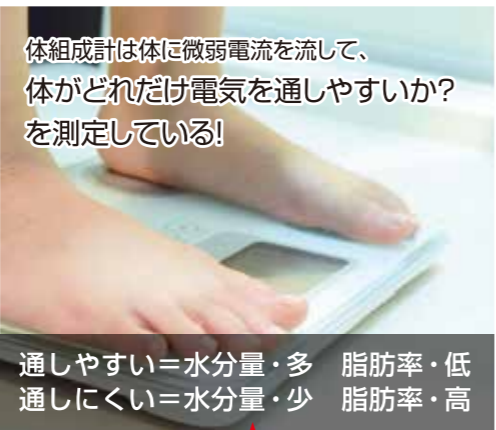
人間の体は約3分の2が水。活動に必要な養分が含まれた水です。そしてその水の保持は電気が支えています。



60~65%

## 水分の貯蔵には電気が必要です。

一つひとつの細胞が水を蓄えていられるのは電気のおかげ。マイナス75mV(ミリボルト)という細胞の内側と外側の電位差によって水分は保たれているのです。細胞がストレスを受けるとこの電位差に乱れが生じ、細胞から水分が失われてしまいます。活動に必要な養分などを含んだ大切な水を失うことで、細胞の活力は低下していくのです。また、年齢を重ねることも水分の割合は減っていきます。筋肉が衰えるのと同様に、細胞内の水分が減っていくのは老化現象のひとつだと考えられています。



通しやすい=水分量・多 脂肪率・低  
通しにくい=水分量・少 脂肪率・高

電気を通しやすい状態の体の方が健康的



## 細胞一つひとつ水分に注目が集まっています。

細胞がストレスを感じて電位差が乱れると、血液のペーハーも低下していきます。ペーハーが下がると弱アルカリ性の血液が酸性に傾き、細胞そのものの機能が大きく低下するため、エネルギーの供給量も大幅にダウンします。血液は血球などの細胞成分と血漿などの液体成分でできていて、血漿成分の約95%は水分です。水分が不足すると粘度の高いドロドロした血液になり、運ぶ力も鈍ってしまいます。

近年は電気刺激を与え、その挙動を細胞レベルで解析する研究が多数行われています。また、美容の分野でも研究が盛んです。微弱電流の利用で、既に一般的になっているものには、体組成計があります。体内の水分は電気を通しやすく、脂肪は電気を通しにくい性質を利用して、体内に微弱な電流を流し、体脂肪率や水分量などを測定しているのです。細胞の一つひとつにいい水をたっぷり蓄えることで、いつまでも若々しく、健康を保っていきましょう。

### 参考文献

『細胞のしくみ』長野 敬 (日本実業出版社)  
『体温を上げると健康になる』齋藤真嗣 (サンマーク出版)  
『電気システムとしての人体』久保田博南 (講談社)  
『ミトコンドリア革命』宇野克明 (東邦出版)  
『免疫力を高める生活』西原克成 (サンマーク出版)

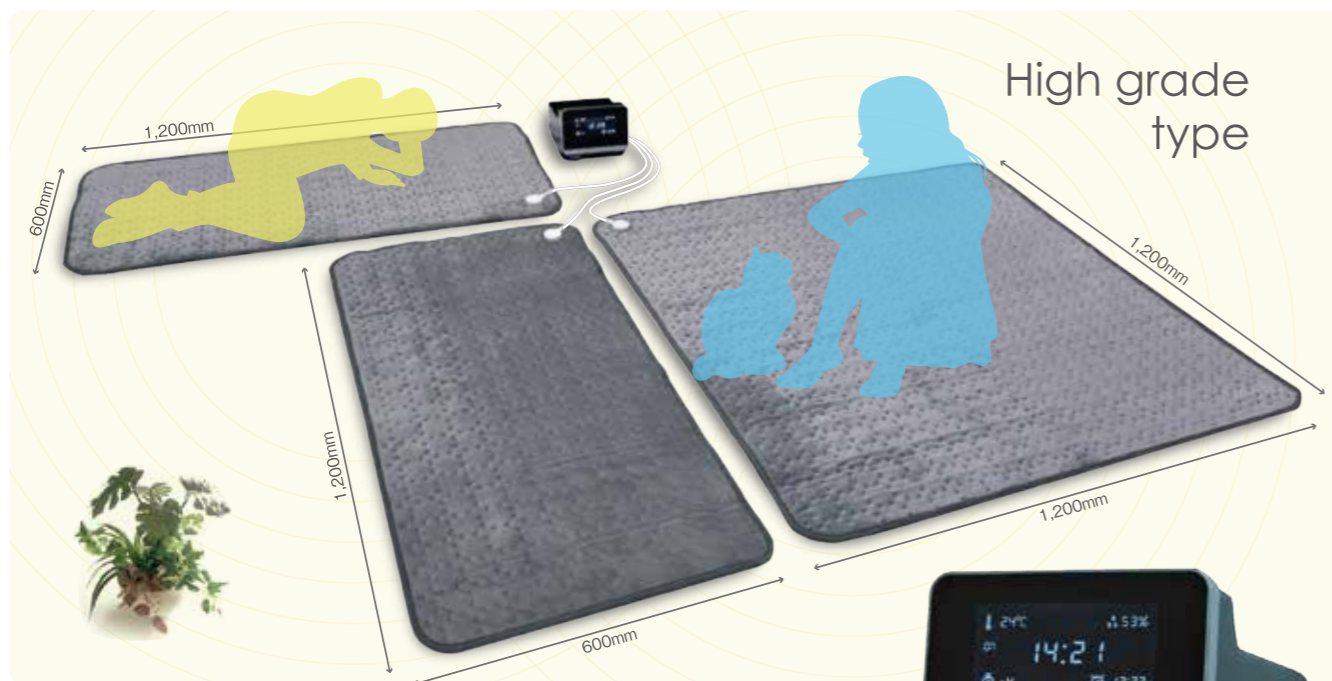
# DENBA<sup>H</sup> Health 選べる2つのタイプ



**スタンダードタイプ**

出力電圧 1800V  
電位マット 大(1,200×1,200mm)×1枚・中(1,200×600mm)×1枚・小(500×500mm)×1枚  
2枚同時使用可能(接続コード2本入り)

Standard type



**High grade type**



室温 湿度  
OFFタイマー 時計  
アラーム

※出力電圧切替スイッチは本体背面

## ハイグレードタイプ

出力電圧 2200Vと3400Vで切替可能  
電位マット 大(1,200×1,200mm)×1枚・中(1,200×600mm)×2枚  
3枚同時使用可能(接続コード3本入り)

※接続コード(高圧出力線)は撮影用のため実際のものとは異なります。※製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なることがあります。  
※製品の定格およびデザインなどは、改善のため予告なく変更する場合があります。

# 敷くだけで魔法のDENBAハウスに早変わり!

あらゆる生活シーンに

## 場所を選ばない!

寝室 リビング 書斎 オフィス

リビング、寝室、勉強部屋など、コンセントがある場所ならどこでもOK。  
また食事や就寝時など、あらゆる生活シーンに溶け込み、楽しさや潤いを与えてくれます。  
DENBA空間にいるだけで、心も軽くウキウキ気分。ビジネスシーンにもおすすめです。



## 良質な睡眠環境づくりにベスト!

イキイキとした生活に欠かせない睡眠。寝ているのに元気がないときは、質のいい睡眠が不足しているときかも。そんな大切な空間が、DENBA<sup>H</sup> Healthに包まれば、気持ちよく眠りにつけるはず!



リラックス  
タイムに♪



## リラックスタイムに最適

家族の憩いであり、リラックスタイムの場として利用されるリビング。DENBA<sup>H</sup> Healthを敷くと、より笑顔あふれる空間に!

家族  
団らんの  
場に♪



ちょっと  
汗をかきたい  
ときにも♪



DENBA<sup>H</sup> Healthの上で優雅にヨガやストレッチもいいですね。体を動かしたときは水分補給も忘れずに!

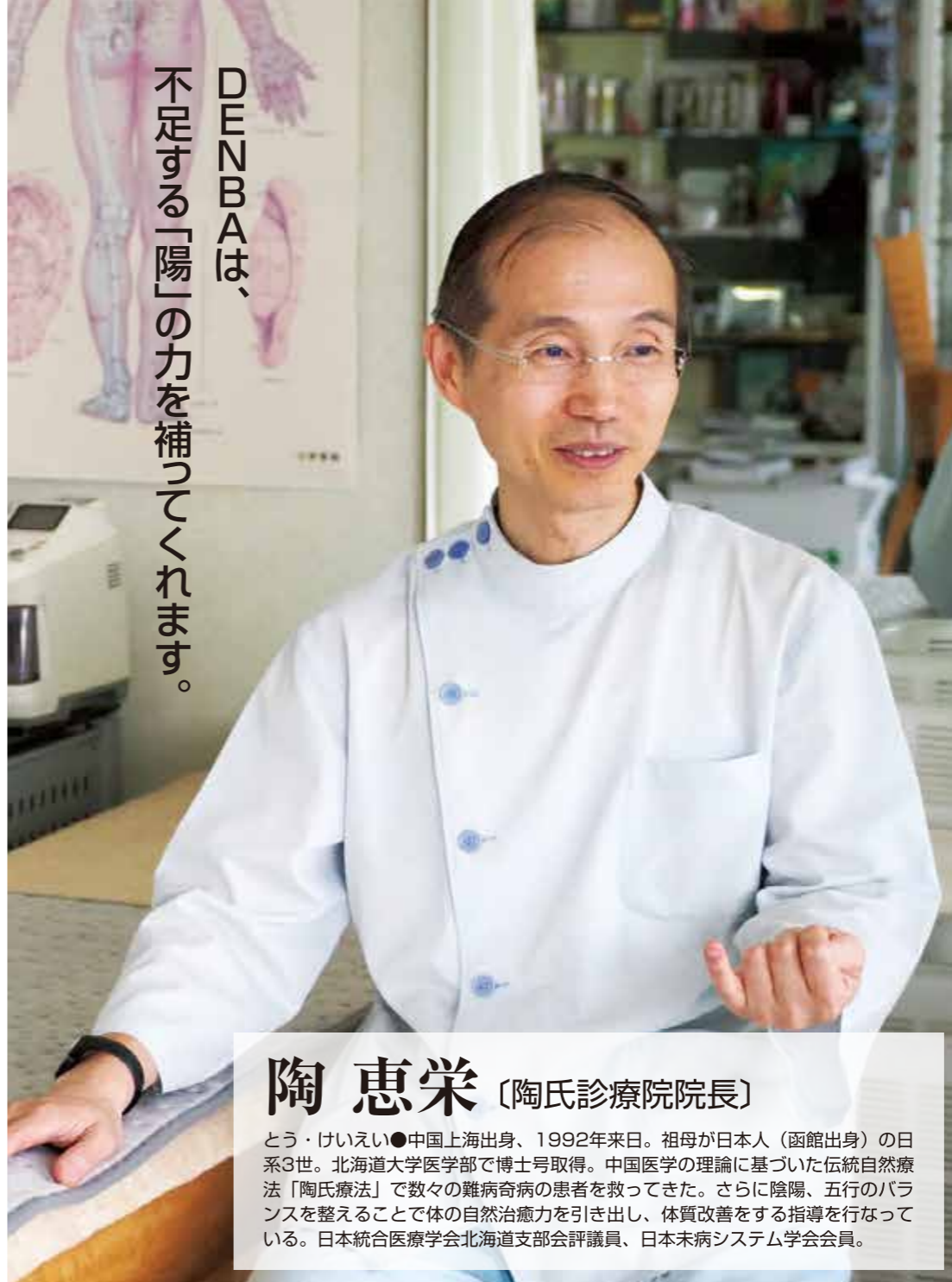
## ビジネスシーンにも

ご家庭だけでなく、ビジネスシーンにも◎。快適な空間づくりを心がけましょう!

## 読書タイムにも

書斎や勉強部屋も明るく健康的な空間で、元気にのびのびと過ごせるお部屋に!

# DENBAは未来の健康維持に役立つ大発明



**陶 恵栄**〔陶氏診療院院長〕

とう・けいせい●中国上海出身、1992年来日。祖母が日本人（函館出身）の日系3世。北海道大学医学部で博士号取得。中国医学の理論に基づいた伝統自然療法「陶氏療法」で数々の難病奇病の患者を救ってきた。さらに陰陽、五行のバランスを整えることで体の自然治癒力を引き出し、体質改善をする指導を行なっている。日本統合医療学会北海道支部会評議員、日本末病システム学会会員。

DENBAは、  
不足する「陽」の力を補ってくれます。

—中国医学の立場から、DENBA<sup>H</sup> Healthを見たときの感想は？

DENBA<sup>H</sup> Healthの鮮度保持や水分子共振の話聞いて、すぐにこれは素晴らしい技術だと確信を持ちました。西洋医学は物質的なレベルで病気を捉えます。しかし、中国医学では物質とは別に、生命という視点もあわせて人間の健康を総合的に捉えています。物質である肉体に、「気」というエネルギーが加わることで人間には命が宿ると考えるのです。物質は「陰」、気は「陽」。この陰陽のバランスが崩れると私たちの健康は損なわれてしまいます。

DENBA<sup>H</sup> Healthは、私たちの体にあつた波長で水分子を共振させることで、特に「陽」のエネルギーを与え、体の陰陽のバランスをとってくれる技術と私は考えています。

の健康に対してメリットがあると言えます。

中国では医者には上中下3種類あると言います。病気になったら治療するのは下医。病気を予防するのが中医。上医は「治国」をする者、すなわちたくさんの人々の健康を維持増進し、社会全体を幸せにすることです。

DENBA<sup>H</sup> Healthを正しい寝食のリズム、生活習慣の中で活用することで、誰でも未来の健康維持に役立てられることでしょう。人間の体にぴたりとあう共振の波長で、陰陽のバランスをちょうどよいところに調整してくれる。それがDENBA<sup>H</sup> Healthです。

—DENBA<sup>H</sup> Healthを使ったさまざまな体験や感想が届いていますが、先生の健康法に基づくと、どう活用すればよいでしょうか。

私の健康法では、「早く寝ること」をととても大切にしています。なぜ人間は寝なければならぬか、そしていつ寝たらよいのか？この大切なことを、驚くほど誰も気にしていません。「陽」の時間帯である日中、人間は働いて、体によいものを摂取するべきです。そして「陰」の時間帯である夜間に、体は摂取したものを消化し、修復していきます。

私は骨髄の研究をしていましたが、骨髄は人間にとって非常に大事な血液を作る場所です。血液が作られる時間はいつでしょう？中国医学では2千年前から、「子午流注」と言って、時間帯ごとにどの臓器がどんな働きをするかがわかっていました。それによると造血の時間は夜の7時～夜中の1時まで。つまり夜です。この時間に、体が造血に集中できるように休みをとるのが肝心なのです。

ちなみに、日本語には「骨休め」という素晴らしい言葉がありますよ。骨をしっかりと休めることで、よい血が作られるのです。

また、造血の時間の後、夜中の1時～3時は肝臓の時間です。こちらも体の修復やメンテナンスに大切な臓器です。DENBA<sup>H</sup> Healthはただ寝ているだけで「陽」をプラスできる、すばらしい発明なのです。

つまり、私のおすすめるは、夜の7時～明け方3時の睡眠時間にDENBA<sup>H</sup> Healthを使うこと。睡眠で「陽」のエネルギーの減りを抑え、さらにその間にDENBA<sup>H</sup> Healthで「陽」を補うのです。夜の7時は無理でも、できれば9時くらい、少しでも早めに床につくようにしましょう。私自身も、朝のすっきり感など、使い始めてすぐに体感を得ました。

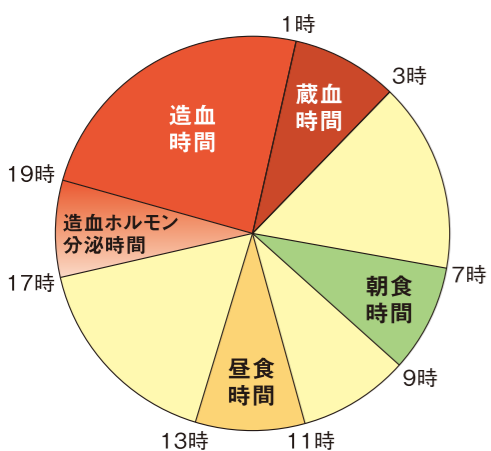
—今後、どういった方にDENBA<sup>H</sup> Healthをすすめたいですか。

DENBA<sup>H</sup> Healthが人間の体の約3分の2を占める水分を共振させることを考えると、あらゆる方の体



若々しさを保っている陶先生の手。「陶氏療法」を自らも積極的に実践する。

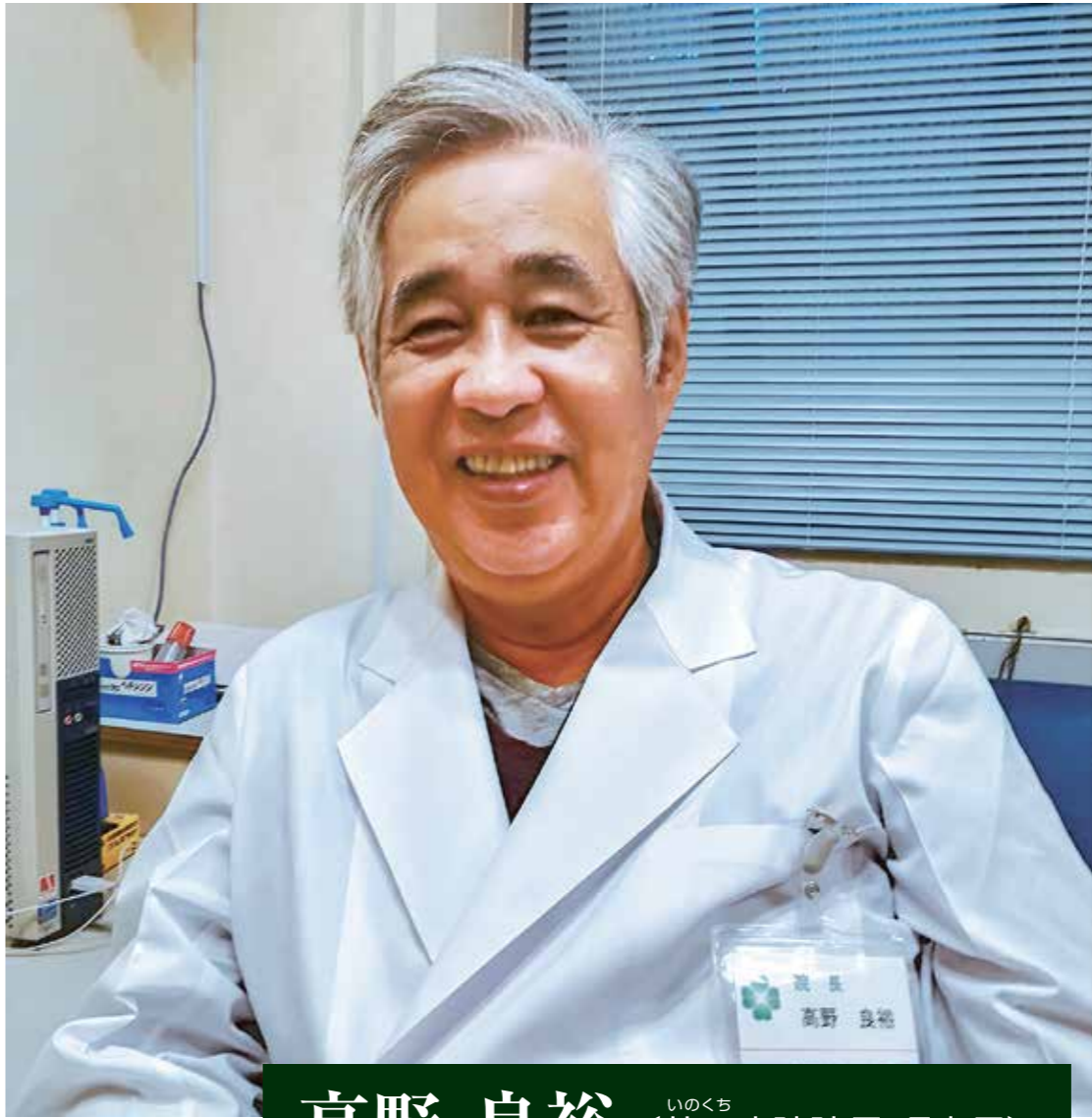
体内時計上の理想的な生活リズム



〔陶氏診療院製作〕



# DENBA<sup>H</sup> Healthは 大きな勇気を与えてくれます！



**高野 良裕** いのくち [井口病院院長・理事長]  
 たかの・よしひろ ● 1947年生まれ、東京大学医学部卒。  
 元徳洲会病院最高顧問。現在は医療法人哲仁会井口病院院長・理事長。  
 40歳で徳洲会病院に勤務し、湘南鎌倉総合病院の院長をはじめ数十か所の病院  
 長を勤務。特に奄美大島など離島の病院における最先端医療の実現に貢献する。

— 先生は西洋医学の価値観だけでなく、いろいろな視野で医療に携わっていらっしゃいますね。

僕は47歳の時に、網膜色素変性症という現代では治療不可能とされている難病を発病しまして、65歳で失明と同じ状態と言われました。西洋医学ではまったく治療法がないのです。それの中で中にはもっと異なった治療法があるのではという考えをもちはじめ、沖縄のEM菌を提唱した比嘉照夫先生にお会いしていろいろなアドバイスをもらいました。また、彼の難病に対してあきらめない姿勢に影響を受けました。その意味では西洋医学だけではなくいろいろなジャンルのアプローチにも興味を持っています。

世の中には面白い才能を持った方がたくさんいらっしゃいます。高陽社の

高野泰樹社長も、医療というジャンルから見るとすごくぶるラジカルな仕事をされていて、また研究熱心なことに畏敬の念を感じました。

— DENBAハイグレードを愛好されていると伺いましたが、感想はいかがですか？

僕は運動不足のせいかな、どうにもすっきりしないことが多かったのですが、最近はメリハリのついた生活ができています。朝から気持ちよく、日々元気に働けるのが何よりうれしいですね。

病院のスタッフたちも言うんですよ。先生なんだか若々しくなりましたねって。肌艶もよくて、どうしたんですかって。まさか恋をしてるわけじゃないでしょうねって(笑)。

僕は目が見にくいので、DENBAがどのようなものなのかも見えていないのですが、ハイグレードを敷いて毎晩寝ていると、確かに自分でもいろいろと体感があるわけです。

医療に携わる人間としては、どのくらい当たっていたら一番よい結果

が出るのかなとか、臨床データをとってみたいとか、難病の患者さんにも体感してもらえたらとか、夢は広がりますね。

— 今、DENBAの体験でいろんな人の信じられないようなうれしい報告をたくさん聞いていますが、先生はご自分の体験も含めて、DENBA<sup>H</sup> Healthの働きをどのように考えておられるでしょう。

人間の体は電気信号が伝わることで、動くし、考えるし、健康でいることができるわけです。量子論の世界では「コヒーレント」という言葉がありますが、規則的な流れを作る、流れを整えてあげるといふ考え方が近い。つまり、さまざまな状況下で混乱している水分子を、ひとつの方向性に向けて、ぱっと流してしまうイメージなのではないでしょうか。

どこかで流れが留まったり、溜まったりということがなくなり、スムーズになる。波動や微振動を外部から物理的に与えて、修復するといったことは

以前から頭の中ではありましたが、こうして実際自分自身で感じると、やはりと思えますね。たぶん量子論の世界なんだろうと思うのですが……。詳しくはさまざまなデータを分析し、量子論の専門家の意見も聞いてみたいという気持ちです。

DENBAテクノロジーは人間の体の健康の本質的な部分に働きかけているのだと考えられます。僕はこれから自分の病気も含めて、西洋医学では治療困難な病気に対して、いろいろな研究し挑戦していきたいですね。その意味でDENBA<sup>H</sup> Healthの登場は大きな勇気を与えてくれますね。





向かって左が久保田さん、右が柳沢さん。

私の中でDENBAは  
一生一緒に働いてくれる  
相棒です。

# 心地よい時間 リンパセラピーとDENBAが作る、

「寝たきり介護ゼロ社会を実現したい」と熱く語ってくれたのは長野県上伊那郡でリンパセラピストとして活躍する原やよいさん。

そんな原さんがDENBAをリンパセラピーに取り入れているとLINE上でお話を聞かせていただきました。



リンパセラピスト 原やよいさん

**原さんにとって  
DENBAの魅力とは？**

空間をずっと振動させてくれることです。体に負担を感じさせないから、多くの人に使ってもらう事ができる。私もこの空間にいるだけで心地よくて暖かく感じます。使った一番初めに感じたことなので今でも鮮明に覚えています。

実際に施術に来ていた久保田さんと柳沢さんにもお話を聞いてみました。

**原さんのリンパセラピーに通うのはどうしてですか？**

久保田さん  
ここに来るたびに元気になるし、いろんな発見がある

**リンパセラピーにDENBAを取り入れたきっかけは？**

リンパ液っていうのは基本的に36.5℃の体温が無いと正常に流れてくれないんです。いろいろな方がお客様としてこられる中で、体の堅い方から子供たちまで、どんな方にも無理なく負担にならないで施術の時の現場を支えてくれる、それがDENBAでした。

**DENBAを取り入れて  
お客様の声はどうですか？**

取り入れる前でも満足感があったんですが、取り入れた後では、お客様それぞれに感性があって、施術が終わった後にその感性の中で「これいいね」とたくさんの方が言ってくれますね。個人個人が感じる感覚だから言葉にするのが簡単、「いいね」となるんですが、皆さんの満足度は非常に高いと感じています。

し、精神的なメンテナンスにもなるんです。原さんの勧めもあって施術でも使用しているDENBAを購入して使っている主人は始め使わなかったんですが、今では勝手に持って行ってこっそり使っていたりします(笑)。主人の表情がとても柔らかくなって元気が出たみたいでうれしき一杯ですね。

柳沢さん  
月に1度なんですけど、原さんのところに来ると元気になるし股関節や肩もよくなりました。今は本当に元気に仕事できていて。原さんが大好きで通い続けてますね。



**DENBAを**

**取り入れてから**

**印象に残ったことは？**

実際に使用してなんで疲れないんだろって思ったのが印象的です。1日中仕事ができるっていう喜びがありました。お客様にもDENBAを取り入れてから「今日はすごく圧が強い」って良く言われます。サービスマンで強くしているわけじゃないですけどね。私の中でDENBAは一生一緒に働いてくれる相棒ですね。言葉を変えたら一生のパートナーですね。

土地柄高齢のお客様も多いですから、自分の事を自分で行い、趣味や旅行を長く楽しむためにも、施術を受けるだけではなくて毎日DENBAを使っていつまでも若々しく、元気でいてほしいですね。『寝たきり介護ゼロ社会』の実現が私の一番の願いですね。





床鍋の皆さんと一緒に。後列中央が酒井さん。



2018年10月号の酒井さん。現在も姉の今村史都栄さんとともに、健康を伝える伝道師として活躍する。



その一方、「私にもしもの  
ことがあれば、この集落も忘

「この藁わらないを一緒になっ  
て一日中していると、懐かし  
さというか、心が豊かになっ  
ていくのを感じました。今の  
世知辛い時代、こうした風習  
がずっと残っていつてほし  
い」と酒井さんは語ります。

**伝統をつなげるのも、  
人が元気であればこそ**



高岡で行なわれる春の例大祭「高岡御車山祭」の様子。  
絢爛豪華な山車が一般に有名だが、村民たちの手に  
よって作られるメ縄も、結界として祭りを支える「名脇役」だ。

れ去られ、藁わらないの伝統は途  
絶えてしまう」と危機感を覚  
えたといいます。

DENBA<sup>H</sup> Health  
ハイグレードを試作機から愛  
用してきた酒井さんは、自ら  
を「DENBAボーイ」と呼  
んで冷え取り健康法の情報発  
信を続けてきました。自分の  
体を労わると同時に、床鍋の  
皆さんにいつまでも元気でい  
てもらいたい。その思いから  
酒井さんは、おばあちゃんた

ちの作業場にDENBA<sup>H</sup>  
Healthを敷くことにし  
ました。

「メ縄作りが生きがいで、  
仕事があればこそ元気でいら  
れる、と皆さん仰います。き  
っとDENBAが皆さんの気  
持ちに寄り添って、サポート  
してくれることでしょう」。

酒井さんも、DENBA<sup>H</sup>  
Healthはもちろん愛用  
中です。さらに長生ドラジ、  
リメインヤングなどが好き  
だそう。

「病気を経験したことで、  
毎日の食生活や栄養の大切さ  
も痛感しました。ところで  
今、心待ちにしているのは、  
食材の鮮度保持ができるとい  
うDENBA+ Freshで  
すよ」。

未知なるものへの興味のア  
ンテナを立てながら、地域の  
人たちとともに、ますます元  
気に活躍しています。



「余命1ヶ月」  
感動物語の「その後」を追う——。  
コーヨーライフ2018年10月号(Vol.235)で紹介した  
神社の禰宜を務める酒井晶正さんです。

高岡関野神社禰宜  
酒井 晶正さん



# 穏やかな時の流れに 健康を感謝する

大病からの生還  
当たり前の日々の  
大切に気づいた

2018年1月、大病をして  
「余命1ヶ月」の宣告を受け  
た、高岡関野神社禰宜(禰宜)  
の酒井晶正さん。コーヨーライ  
フ10月号では、その後「奇跡の  
復帰」を果たしたところまで  
を追いました。

幸いにして、今のところ病  
気の再発もなく、神社で祭事  
を執り行う、以前と変わりな  
い日々を過ごしています。

最近では、春の例大祭で使  
用される、総延長1万メート  
ルの長さを誇る「メ縄」作り  
にも加わりました。

このメ縄は、富山県氷見市  
の床鍋とこがわという村の村民が農閑  
期の仕事として手作りしてい  
るもの。細い山道を登ってい  
った先にある小さな集落に  
は、若者の姿はほとんどな  
く、80〜95歳のおばあちゃん



現在の翔太君



DENBAを使い始めた頃の翔太君



DENBAを使う前の翔太君

「最近歴史が好きで、学校で習ってきた歴史の内容を私に話してくれるんです。先生も、「いったい家で何をしたの？」と首をひねっていました。翔太が自ら生活の変化について説明すると、先生は驚かれて『詳しく教えてほしい』とおっしゃって。大変興味をもたれたようです」。

忘れ物が減り、学校でも授業中じっと座っていられます。さらには小学校2年生レベルで止まっていた勉強が、先生に「もっと問題を作って」と自分からせがむほどになり、みるみる桁数の多い計算、分数などの難しい問題に取り組めるように。

それから翔太君の生活は賀子さんによると次の通りである。寝起きが悪く朝ごはんを食べなかったのが、自分でセットした目覚ましによって自ら起き、朝ごはんを食べるようになった。そして、ジュースを日に5本飲んでいたのが止み、マハロに変わった。「わが家ではごはんをマハロの水とココナッツオイルサプリメントを入れて炊いています。そのごはんを、翔太がおいしいと言ってくれるようになりました」と賀子さん。

**生活改善による効果に  
学校の先生もびっくり！**

小学校では孤立しがちになり、いじめられるようになった。当然のなりゆきで、次第に部屋に閉じこもり、下を向いてゲームばかりするようになっていった。実際本人もどうしていいのかわからない状況だったのではないかと賀子さんは言う。「5年生の時には特別支援学級に入りました。それでも集中力が続かず、40分の授業時間中じっと座っていることは困難でした」。

**人とのコミュニケーション  
がとれるように**

何より賀子さんがうれしいと感じているのが、人とのふれあいやコミュニケーションを積極的にとるようになったことだ。いじめに悩んで引きこもっていたことが嘘のように、今はゲームを置いて、学校の友達と雪の中で走り回っているという。なんと最近彼女もでき、「土日は遊びに出かけてばかり。今までは私にべったりだったのに」と賀子さん。

高陽社のセミナーにも親子で参加している。大勢のメンバーが見つめる前でステージに上がった時は、さすがに賀子さんもひやひやしたというが、翔太君は堂々と質問に答えた。「その後も初めてお会いした方々と自然に話をしたり、会場の外でも御礼を言ったりしていました。こんなに立派に成長してくれて本当に誇らしい気持ちです」。



つるがしょうた  
**鶴賀 翔太くん**

暗い顔つきで学校でも家庭でも心を閉ざしていた小学6年生の鶴賀翔太君。DENBAを体感後、誰もが驚くほどの変化が。そのストーリーを追った。

**苦しみ、心を閉ざしていた息子が  
明るさを取り戻してくれた**

**自分らしさを失う  
子どもたち**

虐待、ネグレクト、家庭内不和…今、子どもたちをめぐる家族環境にさまざまな問題が生じている。

鶴賀さん一家も、はからずも困難に直面した。

母親の賀子さんは離婚を経験し、持病やうつ症状も酷くなり、幼い翔太君を抱えて苦悩する日々が続いた。

小学校では孤立しがちになり、いじめられるようになった。当然のなりゆきで、次第に部屋に閉じこもり、下を向いてゲームばかりするようになっていった。

実際本人もどうしていいのかわからない状況だったのではないかと賀子さんは言う。「5年生の時には特別支援学級に入りました。それでも集中力が続かず、40分の授業時間中じっと座っていることは困難でした」。

**セミナーでの体験が  
きっかけに**

賀子さんと高陽社の縁は7年前から。重度の喘息持ちで、呼吸停止して救急車で運ばれたこともあるという賀子さんは、特約や代理店の勧めで高陽社の製品を愛用してきた。

2018年の10月、参加した地域セミナーでDENBA<sup>H</sup> Healthの体感会を行っていた。賀子さんは、連れてきたほしいものの周囲にまったく無関心な翔太君をとりあえずDENBAのマットに座らせて、携帯ゲームをさせていたという。すると帰り道、翔太君がいつもと違った様子で賀子さんに話しかけてきた。「その時の雰囲気でもしかしたらDENBAはこの子にあっているのかもしれない」と思い、これにかける決意で代理店に相談し、購入を決意しました」。





マハロも毎日飲んでるよ!

周りを笑わせるのがうまい遅くと、気遣いができ、しっかり者の弟・雅くん。兄弟で支えあって困難を乗り越えてきた。



ひな さなえ  
**日名 早苗さん**

岡山県加賀郡在住。後遺症のリハビリに励む長男の達くん(当時中学1年生)と、次男の雅くん(当時小学5年生)を育てる。

よいものに出会えた。  
希望をもって歩んでいきます

杉原さんは面倒見がよく、何よりうちの子をかわいがってくださいました。その人柄に惹かれ、私はDENBAに期待をもちました。体験したところ、事故後、大きな悩みとなっていた体のリズムが整い、それに伴い気持ちも前向きになっていったのです。こんなものが世の中にあっただのかと驚き、息子のために買うならよいものを、

**情報がたさ  
情報がたさる方**

例えば小魚やレバーがいいと聞けば、それを食べさせるなど、毎日が努力の連続でした。そんな状態ではほぼ3年が経ったころ、次男の学童の関係で知り合った杉原千恵さんから、超☆海洋深層水100%マハロ、そして、DENBA<sup>H</sup> Healthについて教えてもらったのです。

の思いでハイグレードを即購入しました。闘病やリハビリは、懸命に努力をしても長く続くこともあり、私にも余裕がなくなり、時には親子でけんかをしながらの、苦しい時期もありました。しかし「死なせない」だけの無我夢中だった人生が、今は「どうやって生活をしていこうか?」という楽しく前向きなものに変わりました。ずっと車椅子生活だった達は、今では松葉杖を使って歩けるようになり、中学校にも通えるようになりました。今年には漢字検定を受けると勉強にもはりきっています。次男の雅も立派に育ってくれています。私も希望をもち、杉原さんからいただいたように、同じ悩みや苦しみをもっておられる方々に、よいものを、自信をもってお伝えしていきたいと思っています。

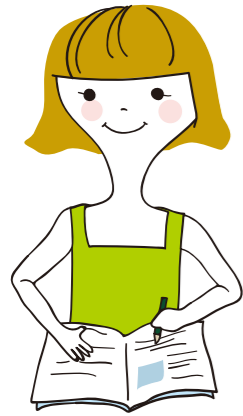
**リハビリの先に...  
DENBAとの出会い**

長男の達が、小学校3年生のときに学校で背中中に硬い雪玉をぶつけられるという事故にあいました。

どうしてこんなことに、と心中穏やかではありませんでしたが、とにかく体だけは一刻の猶予もありません。県外の病院に通い、苦しい治療とリハビリを1年必死で続けました。しかし残念ながら背中から下半身にかけて後遺症が残ってしまいました。

この子の体を少しでもよくするにはどうしたらいいか、情報がほしくてあちこち探し求めました。食事の面でも工夫をし、





奏さんが下書きから色塗りまで初めて自分の力で仕上げた絵。色とりどりの花がエネルギッシュに咲き誇るその絵は、賞をとり、さらに文集の表紙にも掲載された。

松尾家の日常生活の中心にあるDENBAハイグレード。子どもたちの笑顔も増えた。

本人なりに苦しみがあつたの  
思えば大きくなるにつれ、  
卒業することになりました。  
下の子も同じく支援学級を卒  
業することになりました。  
出で、他の同年の子たちと  
同じ学級で授業を受けること  
になったのです！その後、  
の様子や急成長ぶりを教えて  
いただき、なんと支援学級を  
出で、他の同年の子たちと  
同じ学級で授業を受けること  
になったのです！その後、  
下の子も同じく支援学級を卒  
業することになりました。

夫だったので、私からは「か  
しこくなるらしいよ」と声  
をかけたりしながら（笑）、  
次第にマットも抵抗感なく使  
えるようになりました。  
か。ある日長女がいつになく  
うれしそうな様子で、学校で  
描いた絵を持って帰ってき  
ました。それまで、先生の  
サポートなしに時間内に絵  
を仕上げたことはなかった  
のに、今回は「全部一人で塗  
ったよ」と。賞もいただき、  
彼女にとって大きな自信とな  
った出来事でした。  
そして驚きの知らせはさら  
に続きます。先生から学校で  
の様子や急成長ぶりを教えて  
いただき、なんと支援学級を  
出で、他の同年の子たちと  
同じ学級で授業を受けること  
になったのです！その後、  
下の子も同じく支援学級を卒  
業することになりました。

たとい障害自体はなくなら  
なくても、何かのきっかけで  
スイッチが入れば、子どもは  
思いきり成長します。その子  
のよいところが伸び、輝きを  
増していきます。  
DENBAがきつと、その  
子がやりたいこと、チャレン  
ジしたい気持ちをそっと後押  
ししてくれているのではない  
でしょうか。  
こんなすてきな商品を伝え  
てくださった梅本さんと高陽社  
に、心から感謝をしています。



仲よし姉妹です！

まつ お さと こ  
松尾 悟子さん  
長崎県長崎市在住。学習障  
害と発達障害のある奏さん  
(中学2年生)、織ちゃん(小  
学3年生)の子育て中。

いおり  
織ちゃん

かなた  
奏さん



# 娘二人が支援学級から 「卒業」しました！

ママこれとDENBAを  
子どもたちのために

二人の娘がいます。二人  
とも学習障害と発達障害が  
あり、学校では支援クラス  
に入っていました。  
長女は、手先が不器用だっ  
たり、物事を順序立てて実行  
したりすることが苦手。お友  
達の冗談もそのまま受け止め  
て傷ついてしまうなど、相手  
の気持ちを汲み取ることが難  
しい場面もありました。  
家庭では、ホワイトボード  
に朝起きたらすることを書い  
てみたり、たんすの中身を  
シールで示したりなど、工夫  
をしてやってきました。  
お水を飲むことや、野菜は  
旬のものを食べる、など、体  
に良いと聞いたことも試して

みる毎日でした。  
あるとき、知人を通じて  
梅本しのぶ代理店に出会  
い、教えてもらったのが  
「ママこれいいね」です。酸  
素と酵素の力で汚れを分解す  
ることに驚き、子どもたちが  
学校のシューズを洗うのにこ  
れなら使いやすいと思いまし  
た。そして、そのうちに知っ  
たDENBA<sup>H</sup> Health  
のハイグレードを、発売後す  
ぐに購入したのです。

自分で絵を描き上げ  
自信がついた！

長女は最初、マットに乗っ  
た状態で何かに触ったらビリ  
ビリっと感じてしまい、嫌に  
なったようです。しかし  
DENBA空間の中なら大丈

でしょう。「他の子はできる  
のに自分はやらない。生きて  
いる価値がない。死にたい」  
とまで言っていた娘。

DENBAに出会ってから  
物事が少しずつよい方向に回  
りはじめ、笑顔も増え、自分  
の意見もはっきりと言えるよ  
うになってきました。今では  
「将来は人の役に立てる仕事  
に就きたい」と思っているそ  
うです。



# 心筋症・不整脈だった私… 新たな人生がスタート



はま だ  
浜田まゆみさん

毎日1人、必ず会って情報を伝えることを  
生きがいにしています。  
私の元気な姿を見て、すぐ興味を  
もってもらえるのが嬉しいですね。

娘から突然

**DENBAが届いた！**

34歳のときに子宮筋腫となり、子宮を全摘。そこからめっきり体が弱くなり、めまいなどさまざまな不調に悩まされるようになったという浜田まゆみさん。極めつけは数年前、急性たこぼれ心筋症という、ストレスからくる心臓の病気で突然倒れたことでした。動脈硬化や不整脈も見つかり、退院してからも、横になると動悸がひどく夜も眠れない日々。それまで無理を押し続けていた保険の仕事も、辞めざるを得なくなりました。

そんな折、娘から「お母さんと同じような体の人が電位

マットを使っているから買ってあげる」と連絡が。遠慮した浜田さんでしたが、「もう送ったよ」と言われて、自宅にDENBA<sup>H</sup> Healthが届いたのだといいます。

「その後、娘経由で高野誠一副社長とお話しする機会があり、四国で小さなセミナーを開くことになりました。そこでまず教えていただいたのが、水を飲むことの大切さでした」と浜田さん。

それまでは1日かけても500mlのペットボトルを空けるのも容易ではなかったそうですが、この日以来1日1.5ℓを目標に超☆海洋深層水100%マハロを飲み始めたといいます。冷え取りもしながら、DENBA<sup>H</sup> Healthを使用開始。

3ヶ月くらい経過したとき、気づけば気持ちよく過ごせていることを感じたのです」。そして迎えた年1回の

定期検診も順調に済み、気持ち明るくなり、スキップしながら家に帰りました」。

**私の元気な姿をいろんな人に見てもらいたい**

そんな思いでマハロやDENBAを仲間を紹介しているうちに気づけば、これなら仕事としてできる！と燃えてきた浜田さん。代理店登録をした今の目標は、「毎日最低1人、必ず会って情報を伝えること」。

「保険代理店をしていた頃以上に、高陽社ビジネスによって新たな人脈がどんどん広がっている実感がありますよ」。



シングルマザーで4人の子どもを育ててきた越智恵さん。ここまでの人生は決して平坦なものではありませんでした。特に次男の幸次郎さんは、トラウマ体験がきっかけとなりPTSD、統合失調症を発症。幻覚幻聴や、数日間

娘さんにも「もう私より元気なんやないん(笑)」と言われるそう。最近では、高陽社商品を伝えるためのDENBAサロンを開きたいね、という話も親娘でした。「かつては病弱な体で、子どもたちのために必死になって働いてきました。でも娘に今度こそ元気になった姿を見せたい。そして同じように苦しんできた人たちにDENBAを伝えていきたいですね」

親娘の夢はDENBAを通じて広がっています。

**浜田さんから伝えられて…  
総合失調症の息子も私も  
人生が変わった！**

連続して眠れないほどの不眠に悩むこともありました。恵さんは、そんな子どもたちの面倒を見ながら、マッサージ師として温泉施設に勤めて生計を立ててきました。

そんなとき、たまたま浜田まゆみさんと一緒にDENBA<sup>H</sup> Healthを体験。過去には別の電位マットを使った経験もあり、すぐに興味を持ちました。「超☆海洋深層水100%マハロを飲みながらマットに2時間くらい座らせてもらったところ、いつもと全然違う感覚ですつと立ち上がれてびっくり。さらに、他のご家庭での体験も聞いて、うちの息子にもいいかもしれない、と感じました」と恵さん。

早速レンタルをし、自宅で初体験したのが療養中の幸次郎さんでした。最初は電源を入れただけで共振の波動を感じ取り、拒絶反応が出たそう。でもDENBA空間の遠

いところからゆつくりと慣れていき、マハロも足りなくなるほど毎日しっかり飲みました。そして、「1ヶ月くらいで受け入れられない感じはなくなりました」また、朝晩のリズムも整えられるようになってきたといいます。

そのうち、「考え方がマイナス思考からプラス思考に変わりました。社会復帰や、仕事への望みがまた出てきました」としつかりした表情で語ってくれました。

さらに、恵さんの兼ねてから念願であった自宅サロンを開業するなど、DENBA<sup>H</sup> Healthによってさまざまなことがよい方向に回り始めた越智さん一家の、これからはますます楽しみです。



おち ち  
越智 幸次郎さん(中) 越智 恵さん(左)

Q2

DENBA<sup>H</sup> Healthの  
低電位って  
どの程度の強さなの？

**A** DENBA<sup>H</sup> Healthは2w(スタンダードの場合)の消費電力と約0.2mA出力電流のため、マットに触れていなくても、電場空間の影響を受けます。電場空間の影響を何も感じない場合もありますが、**だからこそ、長時間、意識することなく快適にご使用できるもの**となっています。

Q4

使っていると  
違和感をおぼえたのですが。

**A** DENBA<sup>H</sup> Healthのご使用によって、体調に変化を感じたり、違和感をおぼえたら、**まずは短い時間から、マット本体に接触しすぎず DENBA空間だけを利用してみてください。**また、本製品の使用によって気分が悪くなったり、発疹、発赤、かゆみなどの症状が現れた場合は使用を中止し、医師に相談してください。

Q5

電場空間って  
どのくらいの広さなの？

**A** マットを中心に4～5m、360度の大きな空間を作り出すことができます。コードの長さ、マットの大きさでの違いはほとんどありません。

Q1

DENBA<sup>H</sup> Healthと  
高電位の治療器の違いは？

**A** DENBA<sup>H</sup> Healthは、水分子を共振させ、空間全体に効果を発揮しますので、**空間内で自由にお過ごしただけるところが大きな違いです。**他の高電位の治療器や健康機器は体が触れている場合にしか効果を発揮しません。

Q3

子どもがマットの上に  
乗って大丈夫？

**A** 問題ありません。**お子様からご高齢の方まで、安心してお使いいただけます。**ただし、ペースメーカー、埋込み型除細動器、心電計などの医用電子機器との併用は、影響を与える恐れがあるので、使用しないでください。詳しくは取扱説明書でご確認ください。

世界トップレベルの  
コンテナ製造メーカーと  
DENBAがタッグを組んだ！



2019年11月29日、日本記者クラブにてDENBA株式会社とコンテナ製造大手CIMCの記者発表会が行われました。  
同年7月末に業務提携を宣言した両社による発表とあって、食品・物流業界誌の報道関係者らが多数集まりました。  
二社は業務提携によりDENBAテクノロジーを搭載した大型コンテナを開発。鮮度保持技術はもちろん、緊急時に備えた設備も有したコンテナとして特許申請もしているとのこと。  
年間1万台の生産目標を設定しており、世界中に展開していく計画です。

DENBA テクノロジーは  
世界に広がる！

武庫川女子大学体操部  
Mukogawa Gymnastics

SUPPORTED BY  
DENBA+



2020  
3/1

武庫川女子大学体操部へのスポンサー開始！

2020  
3/11

Jリーグクラブ  
大宮アルディージャのクラブパートナーとして契約締結！



DENBA+

CLUB PARTNER



まだ、冷やすだけの  
冷蔵庫をお使いですか？

DENBA<sup>+</sup>  
Fresh

# 冷蔵庫革命！



鮮度保持・菌の  
増殖制御・抑制<sup>※</sup>

～ニオイをおさえ、スッキリ爽やか～  
※すべての菌を同様に抑制するものではありません。



細胞を壊さず、  
冷凍可能

～急速冷凍にたよらず品質保持～



※DENBA社調べ  
ドリップ(旨味成分)の  
流出を大幅削減

～表面と芯部を同時解凍。解凍時間を短縮～



※設置イメージ

## 冷蔵・冷凍・解凍のすべてにDENBAテクノロジー

DENBA<sup>+</sup> Freshは独自技術により家庭用冷蔵庫内に電場を発生させ、電子微細振動により、チルド環境<sup>※</sup>をつくり出しています。

食材の鮮度を長持ちさせ、美味しさも維持できる冷蔵庫後付タイプの空間電場発生装置です。

※氷点下領域でも水分子の凍結が起こらない環境

デンバフレッシュ

家庭用冷蔵庫後付  
鮮度保持装置



(株)高陽社 お客様相談室

☎042-313-3021

(10:00～17:00 土・日・祝日を除く)

※商品のご購入に関しては、本誌の配布者まで  
お尋ねください。

販売者 /  株式会社 高陽社

岐阜県羽島市舟橋町出須賀3丁目38

本誌掲載記事、写真、イラスト等を他媒体に  
無断複写(コピー)、複製・転載することを禁じます。

■ 商品のご購入・お問い合わせは

ありがとうございます 素晴らしい 冷え取り 健康美容